

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告書・計算書類及びその附属明細書
並びに財産目録の承認について
事業報告書
(第 57 回)

自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日

1. 事業概要

令和 6 年度は、甚大な被害を受けた東日本大震災から 14 年が経過し、復旧整備された圃場では新たな園芸振興が行われ、生産の安定化が図られています。

一方で、青果物の生産は、燃料や肥料および生産資材価格は上昇が続き、農業経営においては依然として厳しい状況が続いています。

青果物の価格は、近年の高温や降水量の増加など天候不順が作柄不良に大きく影響し価格上昇につながっています。

消費動向は、他食料品などの価格上昇も重なり、消費者意欲の低下から個人消費を下押しする原因となっています。

一般青果物価格補償事業への加入促進の取組みは、水田における園芸作物への作付転換による生産拡大を見据え、「みやぎ園芸特産振興戦略プラン」の戦略品目と全農宮城県本部の生産振興品目を加えた「生産拡大品目（補給金交付率 100%）」において、令和 6 年度は 1 品目（キャベツ）が補給金交付対象となりました。また補給金対象期間を令和 5 年度から令和 7 年度まで継続的に取組み、事務負担金の見直しを実施して収支改善を図りました。

本年度も、生産者の事務負担金が減免される県の一般青果物価格安定対策加入促進事業を活用し、品目別では予約申込数量の増減により、全体では前年を 46.9 トン下回る予約数量となりました。

一般青果物補給金の交付状況は、433 千円（前年比 4.7%）となり、青果物は平年を上回る価格で推移したため、今年は 4 品目の補給金交付となりました。

2. 青果物の取扱実績

令和 6 年度全農宮城県本部青果物取扱高は、13,088 百万円（前年比 107%）となりました。

品目別では、野菜計（菌茸含む）数量 19,458 トン（前年比 92%）、金額 7,858 百万円（前年比 108%）の取扱となりました。主力のきゅうりは、数量 6,048 トン（前年比 96%）、数量は前年を下回るも、価格は（前年比 114%）、金額は（前年比 107%）と前年を上回りました。

果実計では、数量 3,474 トン（前年比 100%）、金額 4,566 百万円（前年比 106%）、主力のいちごは、数量 2,782 トン（前年比 101%）、梨は、数量 591 トン（前年比 96%）の出荷量となりました。

天候不順の影響は、供給減、価格高となり全国的に見ても同様となりました。

3. 補給金の交付状況および交付実績について

生産農家の経営安定と再生産の確保等を図るため、卸売市場の販売価格が著しく低迷した品目について「一般青果物価格補償事業」で4品目（前年10品目）、「特定野菜等供給産地育成価格差補給事業」は0品目（前年1品目）となり、受託事業の「指定野菜価格安定対策事業」については0品目（前年2品目）となり、ともに補給金交付対象はなかった。

（1）一般青果物価格補償事業 …… 表1

（ア）交付額合計は、433,897円（前年比4.7%）、交付予約数量7,941.6ト（前年比99.4%）に対し、交付対象数量294.8ト（前年比36.6%）となった。

（イ）野菜は、交付順に「きゅうり」「ブロッコリー」「こまつな」「キャベツ」が交付対象となり、「きゅうり」が交付額の60%を占めた。

（2）特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 … 表2

交付対象は0品目となり交付対象はなかった。（前年「ほうれんそう」交付額2,297円）

（3）受託事業

ア. 指定野菜価格安定対策事業 … 表3

（ア）交付額合計はなかった。（前年140,000円）

（イ）交付対象数量0ト（前年4.8ト「夏秋なす」、「ほうれんそう」が交付対象）

イ. 大規模契約栽培産地育成強化支援事業（旧端境期等対策産地育成強化支援事業）

（ア）補助金（事務費）受入：303,075円（令和6年4月11日）

（イ）支援事業対象品目：たまねぎ

ウ. 野菜価格安定事業適正化推進

（ア）野菜の生産出荷等状況調査 … 夏秋トマト（東松島市）、ほうれんそう（涌谷町）
夏秋きゅうり（蔵王町）

（イ）現地調査回数：年4回（各品目）

（ウ）事業の普及にかかる説明会の開催 … 野菜制度説明会：年1回（令和6年8月27日）

表 1 一般青果物価格補償事業

対象月	補給金額 (円)		前年比 (%)	対象品目	品目数	交 付 年月日
	R 5 年度	R 6 年度				
4 月	0	0	-		0	—
5 月	0	0	-		0	—
6 月	76,832	408,296	531.4	きゅうり、ブロッコリー	2	R6.8.20
7 月	2,420,000	25,601	1.1	こまつな、キャベツ	2	R6.9.18
8 月	389,752	0	-		0	—
9 月	0	0	-		0	—
10 月	0	0	-		0	—
11 月	2,426,806	0	-		0	—
12 月	616,630	0	-		0	—
1 月	3,048,376	0	-		0	—
2 月	200,481	0	-		0	—
3 月	0	0	-		0	—
合計	9,178,877	433,897	4.7		4	—

表 2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

対象品目	対象出荷期間	補給金額 (円)		前年比 (%)	R 6 年度 交付年月日
		R 5 年度	R 6 年度		
ほうれんそう(東北)	R6 年 10 月 1 日～12 月 31 日	2,297	0	—	—
ほうれんそう(東北)	R7 年 1 月 1 日～ 3 月 31 日	0	0	—	—
しゅんぎく (東北)	R7 年 1 月 1 日～ 3 月 31 日	0	0	—	—
しゅんぎく (関東)	R7 年 1 月 1 日～ 3 月 31 日	0	0	—	—
合計		2,297	0		

表 3 指定野菜価格安定対策事業

業務区分				補給金額 (円)		R 6 年度 交付年月日
対象品目	対象出荷期間	対象市場	産地区分	R 5 年度	R 6 年度	
冬春きゅうり	5 月～6 月	東北	I	0	0	—
		東北	Ⅲ	0	0	—
		関東	I	0	0	—
春キャベツ	5 月～6 月	東北	I	0	0	—
		関東	I	0	0	—
ほうれんそう	4 月～6 月	東北	I	0	0	—
夏秋きゅうり	7 月～9 月	東北	I	0	0	—
		関東	I	0	0	—
夏秋トマト	7 月～9 月	東北	I	0	0	—
夏秋トマト	10 月～11 月	東北	I	0	0	—
夏秋キャベツ	7 月～10 月	東北	Ⅱ	0	0	—
		関東	Ⅱ	0	0	—
夏秋なす	7 月～9 月	東北	I	0	0	—
夏秋なす	10 月～11 月	東北	I	80,000	0	—
ほうれんそう	7 月～9 月	東北	I	0	0	—
秋冬ねぎ	10 月～12 月	東北	I		0	—
秋冬ねぎ	1 月～3 月	東北	I		0	—
ほうれんそう	10 月～12 月	東北	I	60,000	0	—
ほうれんそう	1 月～3 月	東北	I	0	0	—
冬春きゅうり	3 月～4 月	東北	I	0	0	—
事業計		東北		140,000	0	—
		関東		0	0	—
		計		140,000	0	—

表 4 参考 年次別補給金推移

年 度	補給金額 (円)		
	一般青果物 価格補償事業	特定野菜等供給産地 育成価格差補給事業	指定野菜価格 安定対策事業
H29 年度	22,770,374	0	—
H30 年度	26,487,677	309,543	—
R 元年度	23,319,898	77,797	2,025,000
R 2 年度	20,363,653	78,518	461,000
R 3 年度	40,833,665	0	11,734,000
R 4 年度	12,843,502	41,532	870,000
R 5 年度	9,178,877	2,297	140,000
R 6 年度	433,897	0	0